

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハイタッチ2		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内環境が他施設より広い。	・利用者様の活動等のスペースが十分に確保できており、広いスペースを利用して、運動遊びや他施設との交流など様々な活動に取り組んでいる。	・広いスペースを活かして、他施設との交流を定期的に行う。 ・事務的な掲示物が多い為、子ども達の目から入る情報量が多いので減らしていく。
2	・保護者様との連携や関係性。	・日頃から利用者様の様子等を保護者様と送迎時やライン等で細かく伝え合い、共通理解をしている。	・ハイタッチ2で過ごす利用者様の様子を実際に見て頂くことや一緒に活動等に参加できる機会をつくり、自宅や学校以外での様子を知り、支援員や保護者様とのさらなる関係作りをはかり、一緒に共感できるようにしていく。
3	・一人一人に合った活動内容に取り組んでいる。	・一つの製作や運動遊びの中でも、一人一人の特徴に合った内容にしているため、みんな一緒ではなく個人の個性が活かされた製作や活動になっている。	・職員間との交流も深め、他施設が行っている支援や活動の活動ができるよう取り入れて、活動領域を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室が広いがゆえ、活動によっては利用者様が点在してしまうことがある。	・一人一人の活動や内容が違うため	・支援員や利用者様みんなと集まり、利用者様の目線が合うようにし座る位置や体の向きに配慮し、みんなと一緒に楽しい雰囲気作りを継続し、今後も取り組んでいく。
2	・定期的に防災訓練をしているが、どんな訓練をしているか、また避難場所を保護者様にお伝えできていない。	・連絡帳や口頭で子ども達の話はしているが、保護者様の不安や気持ちに寄り添うことができていなかった。 避難訓練をして職員間だけで満足してしまった。	・防災時のマニュアル、避難訓練を行った際は保護者様に周知・説明し、書面等やラインで可視化する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ハイタッチ2
------	--------

公表日 令和7年3月21日

利用児童数 9名

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		1	職員さん皆しっかり見て下さっています が、新しい方も増え、名前と顔（看護師 か、保育士か）が覚えられない。今現在 の職員さん紹介を紙で頂けるとありがた い。	職員が変わったり、新しい方が入られた ら都度、名前や顔、職種をライン等でお 知らせしていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	8			1	バギーで楽しめる場所に連れて行っても らえるので感謝しています。	今後もバギーで楽しめる場所に行き、友 達と楽しんだり、いろいろな人と関わり 社会との繋がりを大事にしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	8			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	8			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	8			1	長期休み中など皆でできることを考えて 下さって、様々な経験ができると思いま す。	他施設との交流やイベント開催などを今 後も増やしていきたいと思えます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	4	2	1	3		
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	8	1				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	8	1			ノートにも記入して頂けたり、口頭で丁 寧に様子を伝えてもらえるので安心でき ます。	ご家族さまの気持ちに寄り添いながら、 お子様の成長を見届けたり、気づいたこ とや要望などを今後も支援員に気軽に話 せる関係をつくっていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	4				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	1			苦手なお友達が一緒の日は、行くのを嫌がってしまいます。	楽しみな計画と一緒に考えて、それに向かって楽しみながら活動をしたりして安心してハイタッチ2で過ごせるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハイタッチ2				公表日	令和7年3月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		・トイレが死角となるため、緊急時の呼び鈴が必要と考えられる。 ・廊下に手すりがあるとよい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・支援終了後、掃除をきちんとしアルコール除菌をしている。 ・製作品を個々のかごに入れ、整理整頓ができています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・活動表を作成し、それをもとに活動を行っている。	・今後、活動表を保護者様に配布していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・保護者のニーズや今後必要となる児の強みを支援員間で共通理解をし、活動の中で活かす場を設けている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・SNS活用、アレンジしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎日のカンファレンス時に、利用者様の気づきなど情報共有し、改善策を思案している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・児の得意・苦手を情報共有し、次の支援活動に組み込んでいる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・特性に合わせて児を交えながら、ゲームのルールを変更したり、児の意見を取り入れた活動を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・保護者からの要望があった時は、職員間で共有し、同じことを繰り返さないよう声掛けして意識つけしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・散歩、外気浴を兼ねて、避難経路・場所の再確認を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・発作時の対応や坐薬の場所など写真でおさめ、だれでもわかるようにファイルが見えるところにあり、緊急対応ができるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・何ccで溶解し、どのような方法で内服するか所定の場所に掲示し、即対応できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・虐待行為に当たる内容を具体例で共有し、適切な対応がとれるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・虐待行為に当たる内容を具体例で共有し、適切な対応がとれるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			